

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 9月20日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-274333

[ST.10/C]:

[JP2002-274333]

出 願 人

Applicant(s):

ワイケイケイ株式会社

2003年 4月22日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3029741

【書類名】 特許願
【整理番号】 H0214600
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 A44B 19/38

【発明者】

【住所又は居所】 富山県滑川市宮窪 7 0 1 - 9

【氏名】 槻 慶一

【発明者】

【住所又は居所】 富山県富山市水橋中村 5 2 4 - 3

【氏名】 結城 憲治

【特許出願人】

【識別番号】 000006828

【氏名又は名称】 ワイケイケイ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100070529

【弁理士】

【氏名又は名称】 縣 一郎

【選任した代理人】

【識別番号】 100091948

【弁理士】

【氏名又は名称】 野口 武男

【選任した代理人】

【識別番号】 100119699

【弁理士】

【氏名又は名称】 塩澤 克利

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 025265

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705177

【包括委任状番号】 9704377

【包括委任状番号】 0111775

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 隠しスライドファスナー用スライダー

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 底板 1 3 の両側に側壁 1 4 を立設し、側壁 1 4 の上端を内側へ屈曲してフランジ 1 5 を設けた隠しタイプのスライダーにおいて、フランジ 1 5 と側壁 1 4 にかけてフランジ 1 5 の肩口 4 3 側の先端から下り勾配の斜面を設けてガイド部 2 2 を形成してなることを特徴とする隠しスライドファスナー用スライダー。

【請求項 2】 底板 1 3 の両側に側壁 1 4 を立設し、側壁 1 4 の上端を内側へ屈曲してフランジ 1 5 を設けた隠しタイプのスライダーにおいて、蝶棒 1 1 挿入側のガイド溝 1 7 におけるフランジ 1 5 と側壁 1 4 にかけてフランジ 1 5 の肩口 4 3 側の先端から下り勾配の斜面を設けたガイド部 2 2 を形成してなることを特徴とする開離型の隠しスライドファスナー用スライダー。

【請求項 3】 フランジ 1 5 の先端は案内柱 1 6 の側面に対し、直角または後口 4 4 側へ多少傾いて配されてなる請求項 1 または 2 記載の隠しスライドファスナー用スライダー。

【請求項 4】 フランジ 1 5 における斜面の起点は、引手 2 の取付軸 3 5 を案内柱 1 6 に軸支した部分を始端として斜面を形成してなる請求項 1 または 2 記載の隠しスライドファスナー用スライダー。

【請求項 5】 フランジ 1 5 と側壁 1 4 にかけて配設する下り勾配の斜面からなるガイド部 2 2 は、側壁 1 4 の縦断面形状が直線を描く形状に形成してなる請求項 1 または 2 記載の隠しスライドファスナー用スライダー。

【請求項 6】 フランジ 1 5 と側壁 1 4 にかけて配設する下り勾配の斜面からなるガイド部 2 2 は、側壁 1 4 の縦断面形状が曲線を描く形状に形成してなる請求項 1 または 2 記載の隠しスライドファスナー用スライダー。

【請求項 7】 フランジ 1 5 の上面に所定間隔をおいて略胴体 1 の輪郭に等しい覆板 3 2 を案内柱 1 6 に配設してなる請求項 1 または 2 記載の隠しスライドファスナー用スライダー。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

この発明は、隠しスライドファスナーにおけるスライダーに関し、スライダーは止め製品すなわちファスナーチェンの終端を止具で閉鎖した隠しスライドファスナー、および開き製品すなわちファスナーチェンの終端に開離嵌挿具を備えた開離型隠しスライドファスナーに用いる隠しタイプのスライダーに関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来の隠しスライドファスナーにおけるスライダーにおいて、図 1 4 に示すように、下板部の両側に側壁部を立設し、この側壁部の上端を内側へ屈曲してファスナーエレメントをガイドする上片部を設け、側壁部の前端部分を傾斜させるとともに、上片部の内側先端を肩口側へ突出させた突部を設けた隠しタイプのスライダーが知られている。（例えば、特許文献 1 参照。）

【 0 0 0 3 】

また、図 1 5 に示すように基板の両側に側板を立設し、この側板の上端を内側へ屈曲してファスナーエレメントをガイドする上面板を設け、上面板の先端を基板の先端よりも後口側に位置させるとともに、側板の先端部分をコ字状に切欠いて上面板と基板との間に開口を設けた隠しタイプのスライダーが知られている。（例えば、特許文献 2 参照）。

【 0 0 0 4 】

【特許文献 1】

実公昭 4 6 - 6 5 7 4 号公報（第 1， 2 頁、第 1 ～ 4 図）

【特許文献 2】

実公昭 5 6 - 2 2 7 2 9 号公報（第 1， 2 頁、第 1 ～ 4 図）

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

前項で述べた特許文献 1 に開示された隠しタイプのスライダーは、側壁部の上端を内側へ屈曲して設けた上片部の先端が、スライダーの肩口側へ突出する突部

を設けているため、スライダーを摺動させるとき、突部がファスナーエレメントに反転状に取り付けられたファスナーテープに摺接し摺動抵抗が大きく軽快な摺動操作ができない。また開き製品に開離型スライダーとして用いた場合、蝶棒をスライダーに挿入する際、ファスナーテープの端部が突部に引っ掛かり、または触突し円滑な差し込み操作が行えないなどの問題点がある。

【 0 0 0 6 】

また、特許文献 2 に開示された隠しタイプのスライダーも前例と同様に、側板の先端をコ字状に切欠いて開口を設けることによって、上面板の先端がスライダーの肩口側へ突出して突片部分を形成し、この側板から突出する突片部分がスライダーの摺動の際、ファスナーエレメントに反転状に取り付けられたファスナーテープに摺接し、摺動抵抗が大きく軽快な摺動操作ができない。また開離型スライダーとして用いた場合、蝶棒をスライダーに挿入するときファスナーテープの端部が突片部分に引っ掛かり、または触突して円滑な差し込み操作ができないなど問題点がある。

【 0 0 0 7 】

この発明は、上述の問題点を考慮して発明されたものであり、請求項 1 および 2 記載の発明は、隠しスライドファスナー用スライダーを止め製品の隠しファスナーチェン、および開き製品のファスナーチェンの双方に用いたとき、それぞれファスナーエレメントに反転状すなわち U 字状に取り付けられたファスナーテープ間を円滑に摺動でき、かつ開き製品の場合は、ファスナーチェンの端部に取り付けた開離嵌挿具の蝶棒をスライダーへ差し込んだ後、箱体へ差し込むため、蝶棒を取り付けたファスナーテープの端部がスライダーのフランジに邪魔されることなく軽快にスライダーがガイドして挿入できる隠しスライドファスナーのスライダーを提供することが主たる目的である。

【 0 0 0 8 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の目的に加え、隠しタイプのスライダーにおける案内柱とフランジ先端との配置関係をスライダーの摺動および蝶棒の差し込み操作を円滑かつ効率よく行える隠しスライドファスナーのスライダーを提供することが目的である。

【 0 0 0 9 】

請求項 4 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の目的に加え、隠しファスナーチエンをスライダーの引手による引っ張り操作によって摺動させるとき、スライダーのフランジがファスナーチエンに与える摺動抵抗を極力小さくし、円滑に摺動を行える隠しスライドファスナーのスライダーを提供することが目的である。

【 0 0 1 0 】

請求項 5 および 6 記載の発明は、それぞれ請求項 1 または 2 記載の発明の目的に加え、隠しタイプのスライダーによって、開離嵌挿具の蝶棒をスライダーおよび箱体へ差し込むとき、蝶棒を備えたファスナーテープの端部を円滑かつ有効にガイド作業ができる隠しスライドファスナーのスライダーを提供することが目的である。

【 0 0 1 1 】

請求項 7 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の目的に加え、隠しスライドファスナーであるが通常の開き製品のスライドファスナーに酷似させて、顧客が通常の開き製品と同様の開離嵌挿操作が容易に行える形態にスライダーを形成し、また安心して使用できる隠しスライドファスナー用スライダーを提供することが目的である。

【 0 0 1 2 】

【課題を解決するための手段】

前記の目的を達成するため、この発明のうち請求項 1 記載の発明は、隠しタイプのスライダーが底板 1 3 の両側に側壁 1 4 を立設し、この側壁 1 4 の上端を胴体 1 の内側へ屈曲してフランジ 1 5 を設け、このフランジ 1 5 と側壁 1 4 とにかけてフランジ 1 5 における胴体 1 の肩口 4 3 側に位置する先端から下り勾配の斜面を設けることによって、フランジ 1 5 と側壁 1 4 にガイド部 2 2 を形成した隠しスライドファスナーのスライダーを主な構成とするものである。

【 0 0 1 3 】

請求項 2 記載の発明は、開離型の隠しタイプのスライダーが底板 1 3 の両側に側壁 1 4 を立設し、この側壁 1 4 の上端を胴体 1 の内側へ屈曲してフランジ 1 5

を設け、少なくとも蝶棒 1 1 挿入側のファスナーエレメント 6 を挿通するガイド溝 1 7 におけるフランジ 1 5 と側壁 1 4 とにかけて、フランジ 1 5 における胴体 1 の肩口 4 3 側に位置する先端から下り勾配の斜面を設けることによって、フランジ 1 5 と側壁 1 4 にガイド部 2 2 を形成した開離型の隠しスライドファスナーのスライダーを主な構成とするものである。

【 0 0 1 4 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の構成に加え、フランジ 1 5 の肩口 4 3 側の先端は、胴体 1 における案内柱 1 6 の側面に対し、直角または後口 4 4 側へ多少傾いて配置してフランジ 1 5 を形成した隠しスライドファスナーのスライダーである。

【 0 0 1 5 】

請求項 4 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の構成に加え、フランジ 1 5 におけるガイド部 2 2 の斜面の起点は、胴体 1 の案内柱 1 6 に取り付けた引手 2 の取付軸 3 5 を軸支した部分をガイド部 2 2 の始端として斜面を形成した隠しスライドファスナーのスライダーである。

【 0 0 1 6 】

請求項 5 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の構成に加え、フランジ 1 5 と側壁 1 4 とにかけて配設する下り勾配の斜面から形成したガイド部 2 2 は、側壁 1 4 における縦断面形状が直線を描く形状に形成した隠しスライドファスナーのスライダーである。

【 0 0 1 7 】

請求項 6 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の構成に加え、フランジ 1 5 と側壁 1 4 とにかけて配設する下り勾配の斜面から形成したガイド部 2 2 は、側壁 1 4 における縦断面形状が曲線を描く形状に形成した隠しスライドファスナーのスライダーである。

【 0 0 1 8 】

請求項 7 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の構成に加え、隠しタイプのスライダーのフランジ 1 5 の上方にフランジ 1 5 と所定間隔をおいて、略胴体 1 の平面における輪郭に等しい覆板 3 7 を案内柱 1 6 に配設した隠しスライド

ファスナーのスライダーである。

【 0 0 1 9 】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の隠しスライドファスナー用スライダーの実施の形態について、図面を参照しながら具体的に説明する。

【 0 0 2 0 】

この発明の隠しスライドファスナー用スライダーは、図 1 に示す第 1 実施例の隠しタイプのスライダーは、自動停止機構を備え、胴体 1 は亜鉛合金、アルミニウム合金などの金属をダイカスト成形して形成し、胴体 1 は底板 1 3 の両側に側壁 1 4 を立設し、この側壁 1 4 の上端を内側へ屈曲することによってフランジ 1 5 を形成し、底板 1 3 の中央には案内柱 1 6 を立設するとともに、この案内柱 1 6 とフランジ 1 5 間および両側のフランジ 1 5 間にファスナーテープ 5 が挿通できる間隙 S を設け、案内柱 1 6 と側壁 1 4 およびフランジ 1 5 に囲繞された部分に、U 字状に折曲したファスナーテープ 5 の一側縁に取り付けたファスナーエレメント 6 を挿通しガイドできるガイド溝 1 7 を設ける。

【 0 0 2 1 】

案内柱 1 6 の上部には縦方向に凹状の凹溝部 1 8 を設け、この凹溝部 1 8 に図 3 に示すように一端に停止爪 2 5 を有するフック状の爪杆 2 4 を遊嵌して中央部分に穿設した軸孔 2 8 に支軸 3 0 を挿通して固定し、爪杆 2 4 を回動可能に形成する。爪杆 2 4 の一端に設けた停止爪 2 5 の基部に凹状の引掛部 2 6 を設けて引手 2 を連結するトライアングル状のクランパー 3 4 の一端に形成した取付軸 3 5 を嵌挿し、爪杆 2 4 の他端には凹欠状の押圧部 2 7 を設け、案内柱 1 6 における凹溝部 1 8 の下側に円筒の収納孔 1 9 を設けてスプリング 3 1 を収容し、スプリング 3 1 の上端は押圧部 2 7 に圧接して停止爪 2 5 を案内柱 1 6 の後口 4 4 側の先端に延設した突片 2 0 に形成した爪孔 2 1 から進退自在に形成してスライダーの摺動を自動停止させる。

【 0 0 2 2 】

このように形成した隠しタイプのスライダーにおいて、この発明が最も重要視している構成は、底板 1 3 の両側に立設した側壁 1 4 と、側壁 1 4 の上端に屈設

したフランジ 1 5 の肩口 4 3 側に、ファスナーテープ 5 をガイドするガイド部 2 2 を形成する。ガイド部 2 2 は案内柱 1 6 に取り付けられたクランパー 3 4 の取付軸 3 5 の近傍、すなわち取付軸 3 5 と支軸 3 0 間に配設するのがよい。ガイド部はフランジ 1 5 から側壁 1 4 にかけて縦断面形状が肩口 4 3 側へ直線状の下り勾配の斜面を形成し、フランジ 1 5 におけるガイド部 2 2 は案内柱 1 6 の側面に対し直角または後口 4 4 側へ多少傾いた形状を呈するように配されている。

【 0 0 2 3 】

この斜面状のガイド部 2 2 は、図 4 ～ 7 に示すように、ファスナーチェン 4 の端部に配した開離嵌挿具 8 における蝶棒 1 1 を箱体 9 に挿入する際、図 4, 5 に示すようにスライダの胴体 1 に形成したガイド溝 1 7 へ一方のファスナーテープ 5 の端部に固定した補強テープ 7 の側縁に取り付けた蝶棒 1 1 を挿入すると、ファスナーテープ 5 の先端はスライダの側壁 1 4 に設けた斜面のガイド部 2 2 に沿って滑動し、図 5 に示すようにフランジ 1 5 の先端に設けたガイド部 2 2 へ誘導する。図 6 に示すように蝶棒 1 1 をガイド溝 1 7 の内部へ進入させると、U 字状のファスナーテープ 5 の先端はガイド部に沿って誘導され、スライダに形成されたフランジ 1 5 と案内柱 1 6 間に設けた間隙 S へガイドして挿入する。さらに蝶棒 1 1 を内側へ進入させると、U 字状のファスナーテープ 5 の先端はスライダに形成された案内柱 1 6 の後口 4 4 側に形成された対向するフランジ 1 5 間に設けた間隙 S へガイドされる。

【 0 0 2 4 】

その後さらに蝶棒 1 1 をガイド溝 1 7 の奥へ進入させると、スライダと当接しファスナーテープ 5 の端部に取り付けられた開離嵌挿具 8 の箱体 9 へ進出し、図 7 に示すように蝶棒 1 1 は箱体 8 の蝶棒挿入部 1 2 へ挿入し固定される。この状態でスライダを肩口 4 3 方向へ摺動させることによって、ファスナーチェン 4 を閉鎖させることができる。

【 0 0 2 5 】

このような一連の操作たとえばファスナーテープに取り付けた蝶棒の箱体への嵌挿操作においては、胴体 1 の側壁 1 4 とフランジ 1 5 に設けた斜面のガイド部 2 2 には突出部分がないので、ファスナーテープ 5 の端部をスムーズにガイドし

、嵌挿操作を容易に行うことができる。またファスナーチェン４の開閉操作の際は、胴体１における案内柱１６の側方において、ガイド部２２から肩口４３側へ突出する突出部分がないので、スライダーの摺動の際、摩擦抵抗が小さく、軽快な摺動操作ができ、このスライダーは開き製品のみでなく止め製品にも用いることができる。

【 0 0 2 6 】

なお図４に示すように、ファスナーテープ５の端部に取り付けた開離嵌挿具８における箱体９の上面が斜面状に形成してあるのは、スライダーの後口４４を箱体９に当接したとき傾斜状にスライダーを載置することができ、蝶棒１１の差し込み操作が円滑かつ容易にできるように便宜を図ったものである。また案内柱１６の上部に設けた凹溝部１８が偏倚しているのは、装着された爪杆２４の停止爪２５が箱棒１０を取り付けた側のファスナーエレメント６間に確実に挿入できるように形成したものである。

【 0 0 2 7 】

図８～１０に示す第２実施例の隠しタイプのスライダーは、胴体１４の底板１３の両側に立設した側壁１４と、この側壁１４の上端を内側へ屈曲して設けたフランジ１５とに形成する斜面のガイド部２２の形態が前例とは多少異なる以外は略同一形態である。図８，９に示すようにガイド部２２が始まる起点を引手２を胴体１へクランパー３４によって連結したクランパー３４の取付軸３５を基準としてガイド部２２を設置したものである。

【 0 0 2 8 】

このようにガイド部２２の起点を引手２の取付軸３５を基準に設けることによって、ファスナーチェン４を閉鎖する際、一方のファスナーテープ５に取り付けられた蝶棒１１をスライダーのガイド溝１７に挿入する際、前例と同様に円滑に操作ができる。蝶棒１１を箱体９に差し込んだ後、スライダーを摺動させてファスナーチェン４を閉鎖する際、引手２の引っ張り操作により胴体１の肩口４３側に障害物、たとえばフランジ１５の先端が突出していると、Ｕ字状に折曲したファスナーテープ５の内面を擦過するため、摺動抵抗が大きく重く感じるが、取付軸３５から肩口４３側にフランジ１５が突出していないので、摩擦抵抗が小さく

円滑な操作を行うことができる。

【 0 0 2 9 】

図 1 1 はガイド部 2 2 の変形例を示すもので、隠しタイプのスライダーにおいて、胴体 1 のフランジ 1 5 から側壁 1 4 にかけて形成する斜面のガイド部 2 2 は、胴体 1 に取り付けした引手 2 のクランパー 3 4 における取付軸 3 5 の近傍から胴体 1 の肩口 4 3 へ向けた縦断面形状が下り勾配の斜面のガイド部 2 2 が前例とは異なり、直線ではなく曲線たとえばなだらかな S 字状を呈する斜面に形成し、ガイド部 2 2 の底板 1 3 との接点およびフランジ 1 5 における隅角部をそれぞれ曲面によって形成することにより、ファスナーテープ 5 との接触を和らげ、円滑な蝶棒 1 1 の差し込み操作およびスライダーの摺動操作が行えるように形成したものである。

【 0 0 3 0 】

図 1 2, 1 3 に示す第 3 実施例の隠しタイプのスライダーは、胴体 1 における下半部分の形態が第 1 実施例の形態と同一であるが、異なるのは上半部分の形態である。すなわちフランジ 1 5 の上方に所定の間隔をおいて、略胴体 1 の平面の輪郭に等しい覆板 3 2 を案内柱 1 6 に装着し、通常の開き製品のスライダーに酷似させたことである。

【 0 0 3 1 】

詳述すると、覆板 3 7 における表面の前後に三角状の取付柱 3 8 を斜面が対向するように配設し、この取付柱 3 8 は中央長手方向に間隙部分があり、この間隙部分に、一端に停止爪 2 5 があるへの字状の爪杆 3 9 を介在させ、爪杆 3 9 の上側へ板スプリング 4 0 を載置して爪杆 3 9 の中央を下方へ付勢させて自動停止機能を具有させ、三角状の取付柱 3 8 間に引手 2 を連結したクランパー 3 4 の取付軸 3 5 を嵌挿し、引手 2 を引っ張ると三角状の取付柱 3 8 がカムの働きをし、板スプリング 4 0 に抗して爪杆 3 9 を押し上げ、停止爪 2 5 をファスナーエレメント 6 間から脱出させ摺動させる。なお板スプリング 4 0 の上方に船底形のカバーを被覆して側面を取付柱 3 8 にかしめ付ける。

【 0 0 3 2 】

この隠しタイプのスライダーも前例と同様な操作を行う。たとえば図 1 3 に示

すように、胴体 1 の肩口 4 3 から U 字状に折曲したファスナーテープ 5 に取り付けられた蝶棒 1 1 をガイド溝 1 7 へ差し込み、ファスナーテープ 5 は斜面のガイド部 2 2 にガイドされ、フランジ 1 5 と覆板 3 2 の間で、フランジ 1 5 の側縁に配された間隙 S を通り蝶棒 1 1 を箱体 9 の蝶棒挿入部 1 2 に挿入して固定し、スライダを摺動させてファスナーチェン 4 を閉鎖させる。蝶棒 1 1 の差し込みの際、覆板 3 2 が存在するため、通常タイプの開き製品と同様な差し込み操作ができる。

【 0 0 3 3 】

以上説明したとおり、この発明の隠しタイプのスライダは、開き製品たとえばファスナーチェンの端部に開離嵌挿具を備えた隠しスライドファスナーに使用できる以外に、止め製品たとえばファスナーチェンの端部を下止具によって固定した隠しスライドファスナーにも使用できるスライダである。

【 0 0 3 4 】

【発明の効果】

この発明の隠しスライドファスナー用スライダは、以上説明したとおりの構成であり、この構成によって下記の効果を奏するものである。

【 0 0 3 5 】

この発明のうち請求項 1 および 2 記載の発明は、底板の両側に側壁を立設し、側壁の上端を内側へ屈曲してフランジを設けた隠しタイプのスライダにおいて、フランジと側壁にかけてフランジの肩口側の先端から下り勾配の斜面を設けてガイド部を形成し、あるいは蝶棒挿入側のガイド溝におけるフランジと側壁にかけてフランジの肩口側の先端から下り勾配の斜面を設けたガイド部を形成したことにより次の効果がある。

【 0 0 3 6 】

この発明の隠しタイプのスライダは、止め製品すなわち隠しファスナーチェンの端部を下止具によって固定したスライドファスナー、および開き製品すなわち隠しファスナーチェンの端部に開離嵌挿具を具備したスライドファスナーの双方に用いることができ、隠しタイプのスライダはファスナーチェンを閉鎖する際、スライダの引手を閉鎖方向へ引っ張り移動させるとき、フランジと側壁の

前面にガイド部があるため円滑に摺動でき、特に従来品のように側壁の前面にフランジが存在しないから摺動抵抗が小さく軽快に摺動できる。

【 0 0 3 7 】

また開き製品の場合は、ファスナーテープに取り付けた蝶棒をスライダーおよび箱体へ挿入する際、U字状に折曲したファスナーテープがスライダーのフランジにおけるガイド部前面に突出物がないので、差し込み操作を邪魔されず円滑に箱体へ挿入できる効果がある。

【 0 0 3 8 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の効果に加え、フランジの先端は案内柱の側面に対し、直角または後口側へ多少傾いて配置されていることによって、フランジのガイド部は側壁側よりも先端の隅角部分がファスナーテープに一番最後に摺接するので、ファスナーテープのガイドが円滑かつ効率よく行える効果がある。

【 0 0 3 9 】

請求項 4 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の効果に加え、フランジにおける斜面の起点は、引手の取付軸を案内柱に軸支した部分を始端として斜面を形成したことによって、スライダーの胴体は、引手を引っ張って摺動させるとき、フランジにおける引手の取付軸の前方に突出物がないので、ファスナーチェンに与える摺動抵抗が小さく、スライダーを円滑に摺動させることができる効果がある。

【 0 0 4 0 】

請求項 5 および 6 記載の発明は、それぞれ請求項 1 または 2 記載の発明の効果に加え、フランジと側壁にかけて配設する下り勾配の斜面からなるガイド部は、側壁の縦断面形状が直線を描くか、または曲線を描く形状に形成したことによって、ファスナーテープの厚さ材質等を加味して最適なガイド部を具備したスライダーに形成できる効果がある。

【 0 0 4 1 】

請求項 7 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明の効果に加え、フランジの上面に所定間隔をおいて略胴体の輪郭に等しい覆板を案内柱に配設したこと

よって、通常の開き製品のスライドファスナーに似せて、開離嵌挿操作、摺動操作を通常のスライドファスナーとして取り扱うことができる効果があるなど、この発明が奏する効果はきわめて顕著である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

第 1 実施例の隠しタイプのスライダーの斜視図である。

【図 2】

同上スライダーの側面図である。

【図 3】

同上スライダーの縦断面図である。

【図 4】

同上スライダーを備えた開離嵌挿具付ファスナーチェンの正面図である。

【図 5】

同上スライダーを備えた開離嵌挿具付ファスナーチェンの図 4 における側面図である。

【図 6】

同上スライダーを備えた開離嵌挿具付ファスナーチェンにおける蝶棒のスライダーへの挿入態様を示す側面図である。

【図 7】

同上スライダーを備えた開離嵌挿具付ファスナーチェンにおける蝶棒の箱体への挿入態様を示す側面図である。

【図 8】

第 2 実施例の隠しタイプのスライダーの正面図である。

【図 9】

同上スライダーの側面図である。

【図 10】

図 8 における A - A 断面図である。

【図 11】

サイド部の変形例を示す隠しタイプのスライダーの側面図である。

【図 1 2】

第 3 実施例の隠しタイプのスライダーの正面図である。

【図 1 3】

同上スライダーの側面図である。

【図 1 4】

公知の隠しタイプのスライダーの正面図である。

【図 1 5】

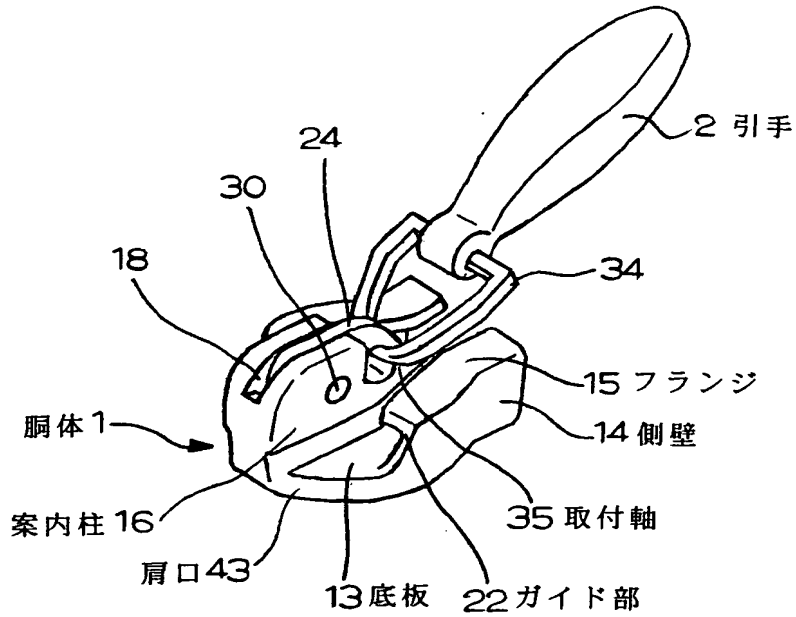
他の公知の隠しタイプのスライダーの斜視図である。

【符号の説明】

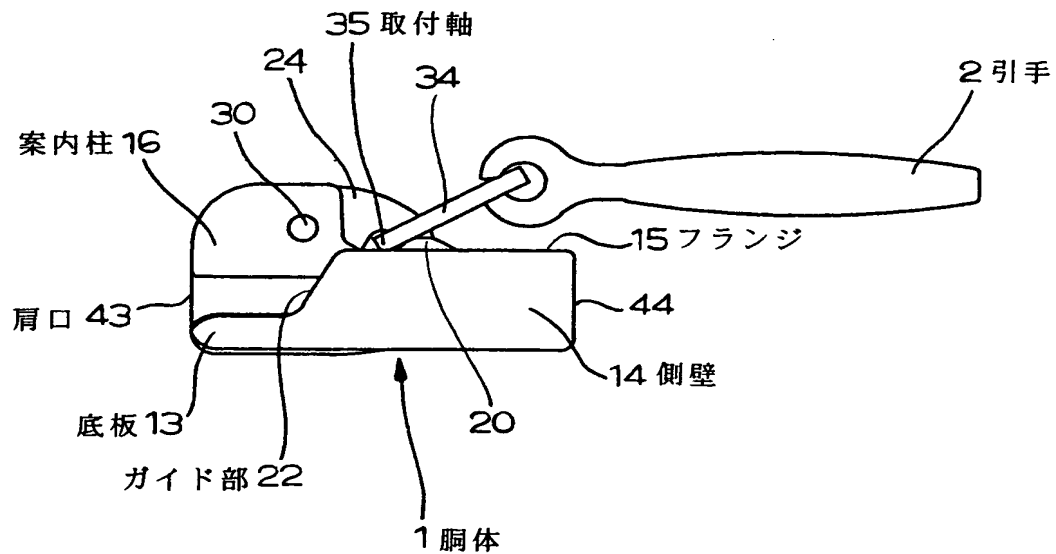
| | |
|-----|------|
| 1 | 胴体 |
| 2 | 引手 |
| 1 1 | 蝶棒 |
| 1 3 | 底板 |
| 1 4 | 側壁 |
| 1 5 | フランジ |
| 1 6 | 案内柱 |
| 1 7 | ガイド溝 |
| 2 2 | ガイド部 |
| 3 2 | 覆板 |
| 3 5 | 取付軸 |
| 4 3 | 肩口 |
| 4 4 | 後口 |

【書類名】 図面

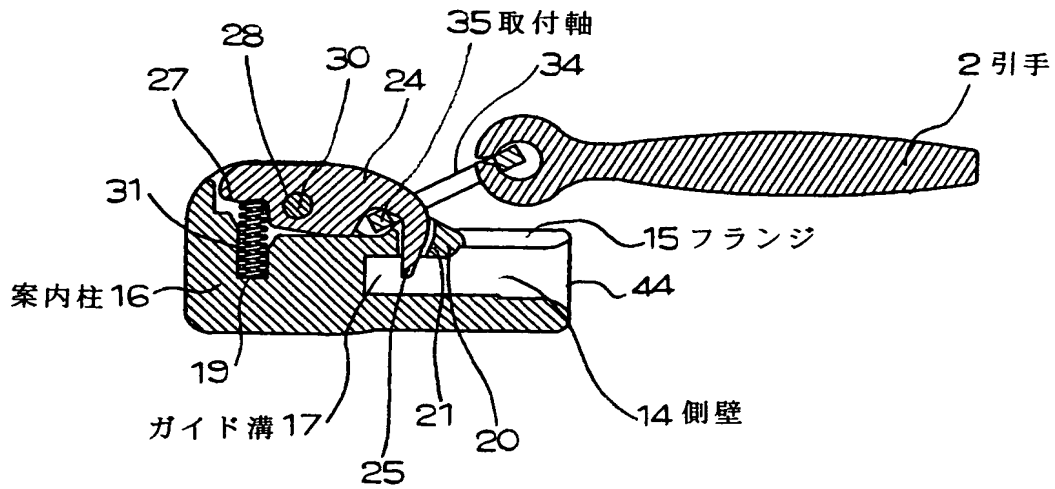
【図 1】



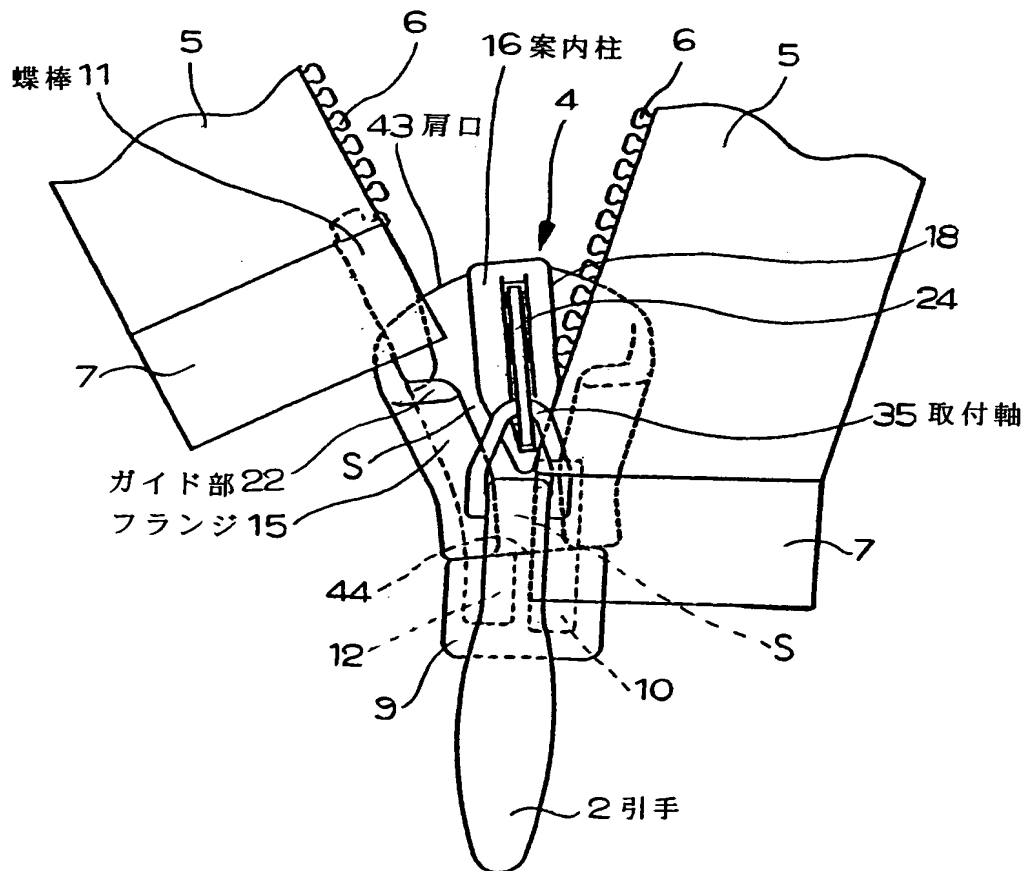
【図 2】



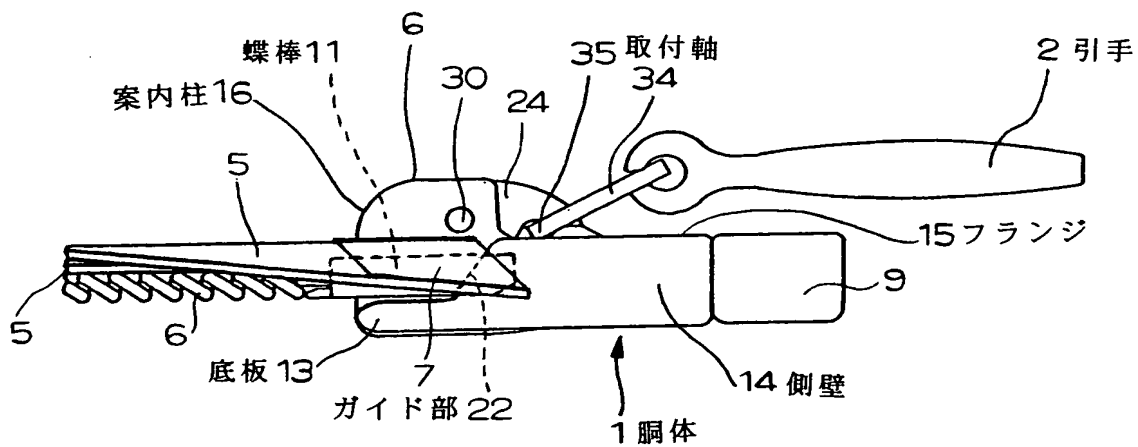
【図3】



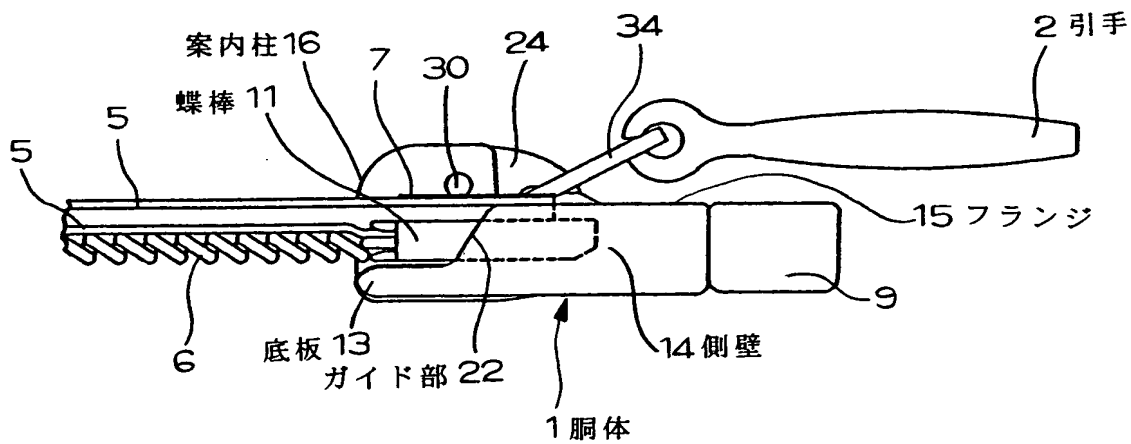
【図4】



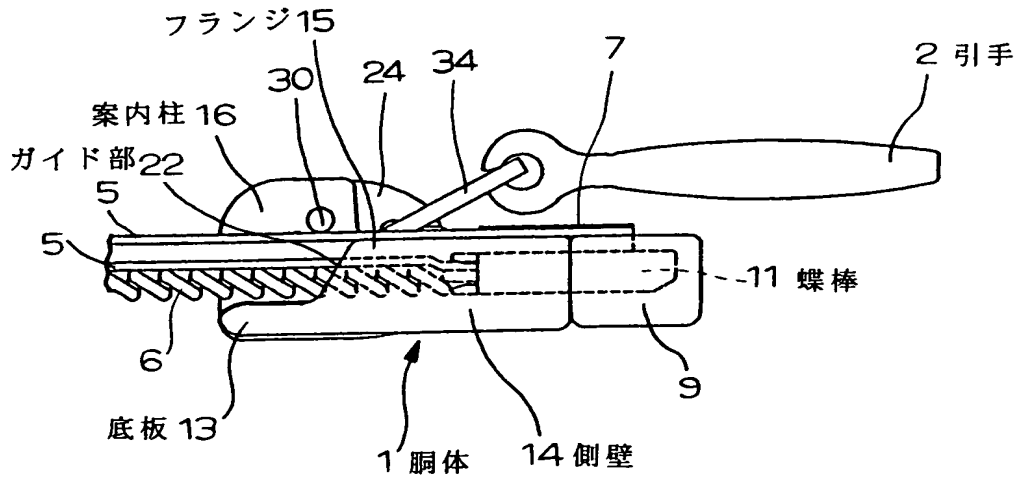
【図 5】



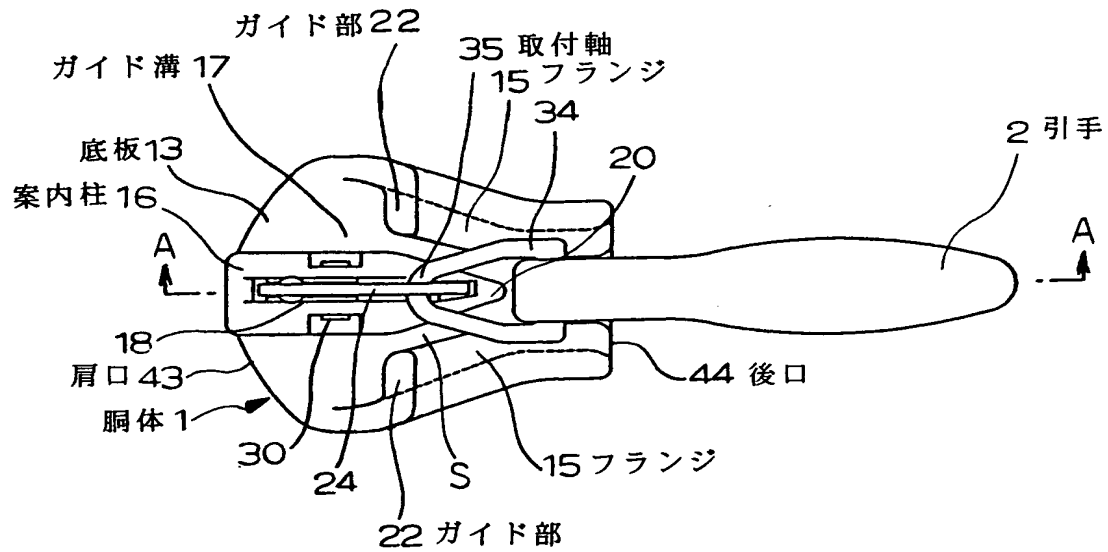
【図 6】



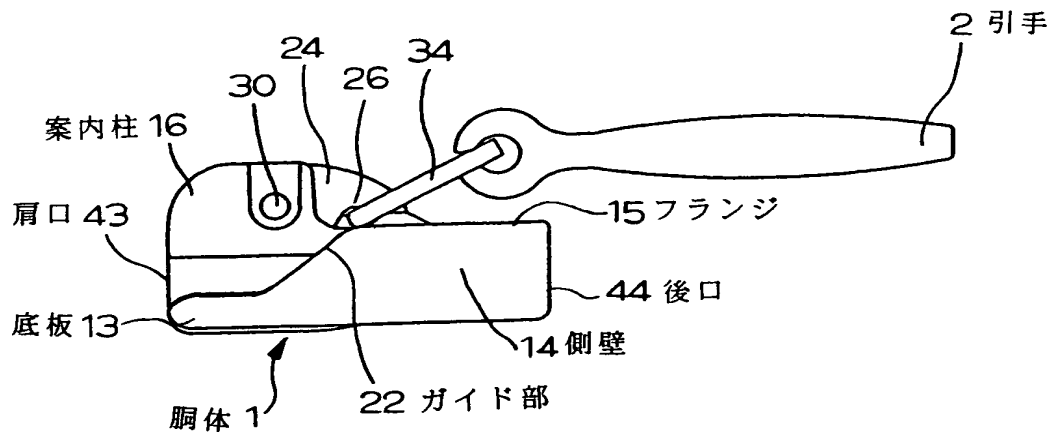
【図 7】



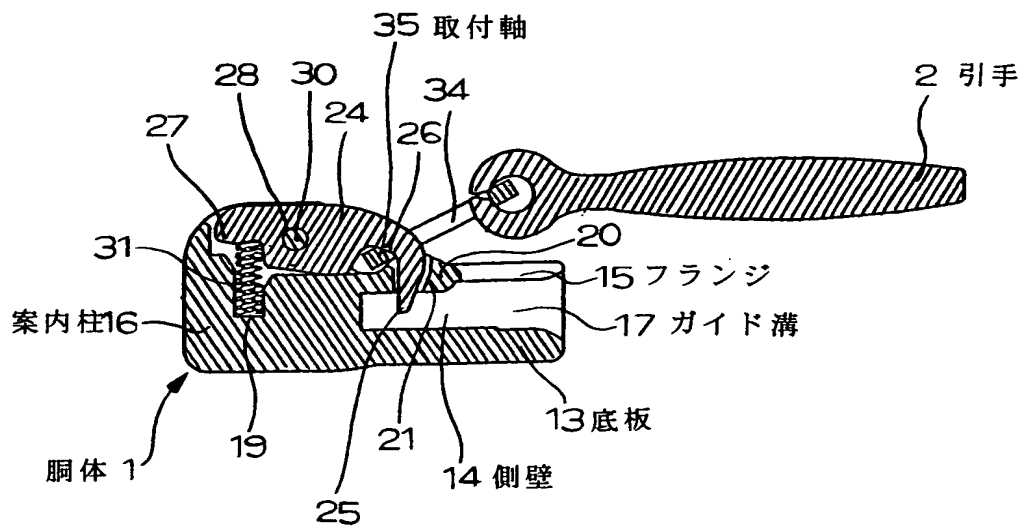
【図 8】



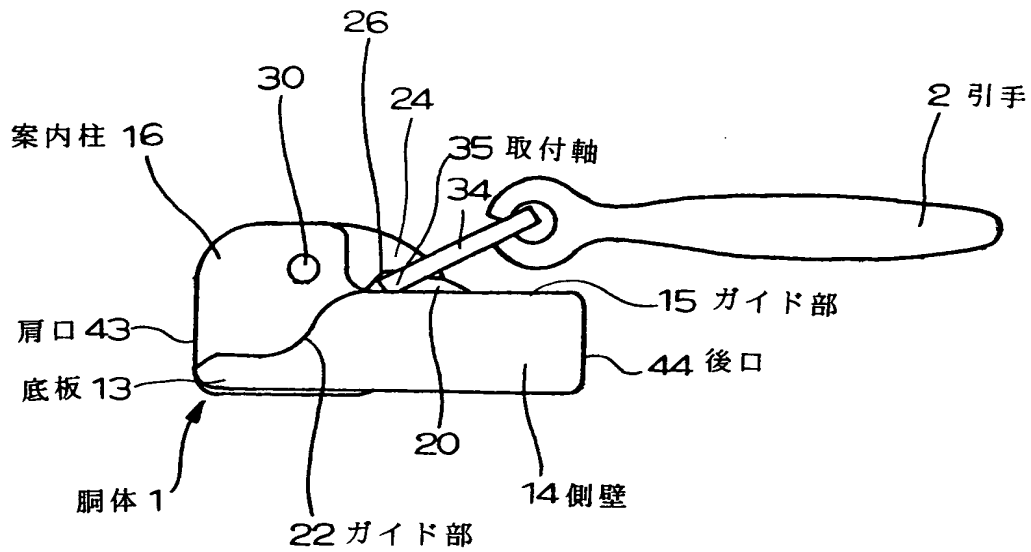
【図 9】



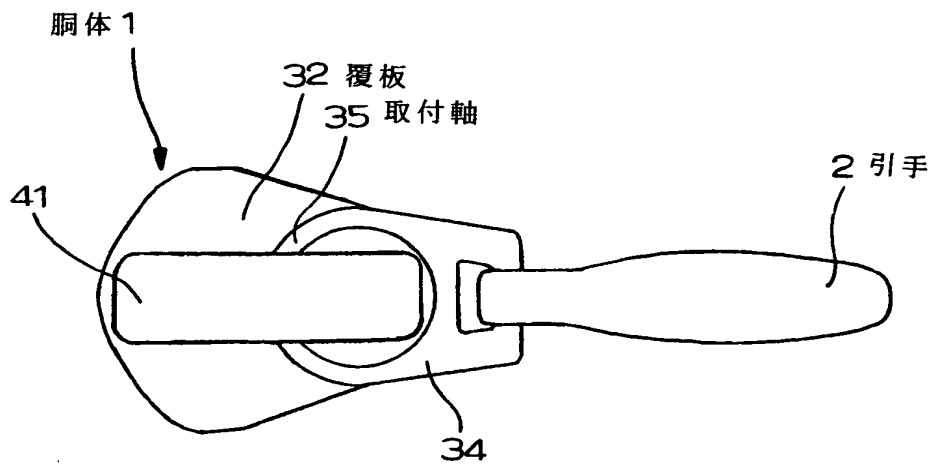
【図 1 0】



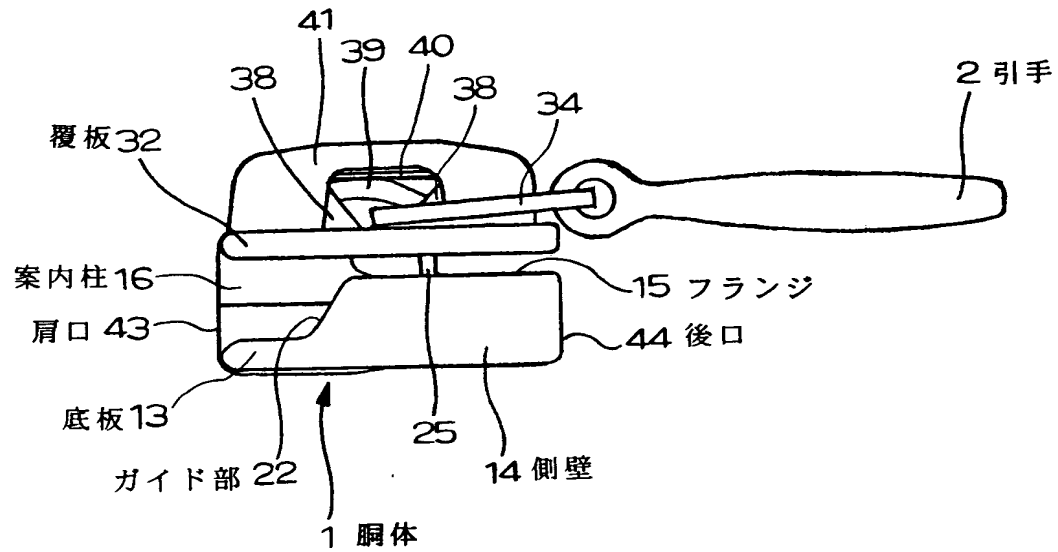
【図 1 1】



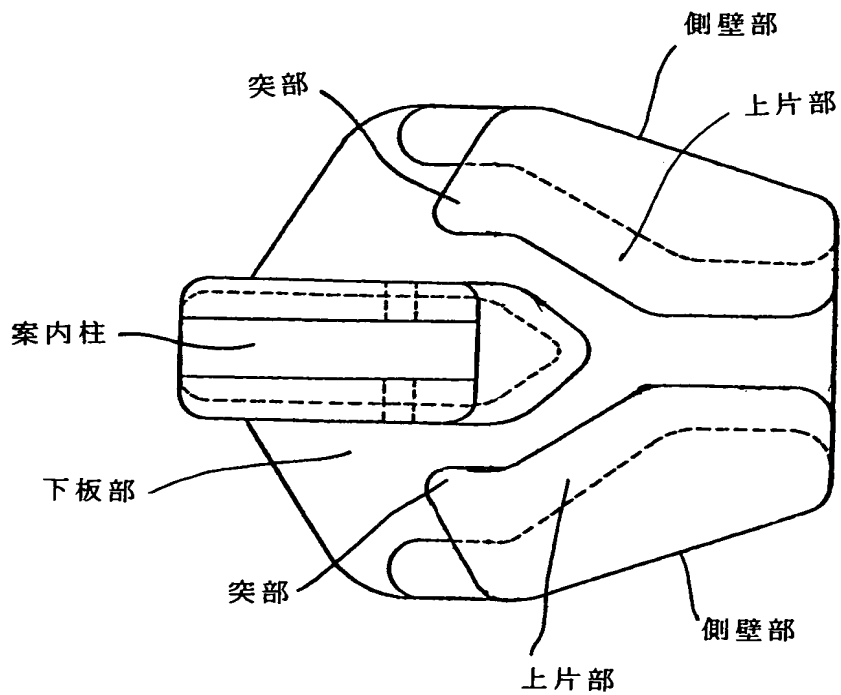
【図 1 2】



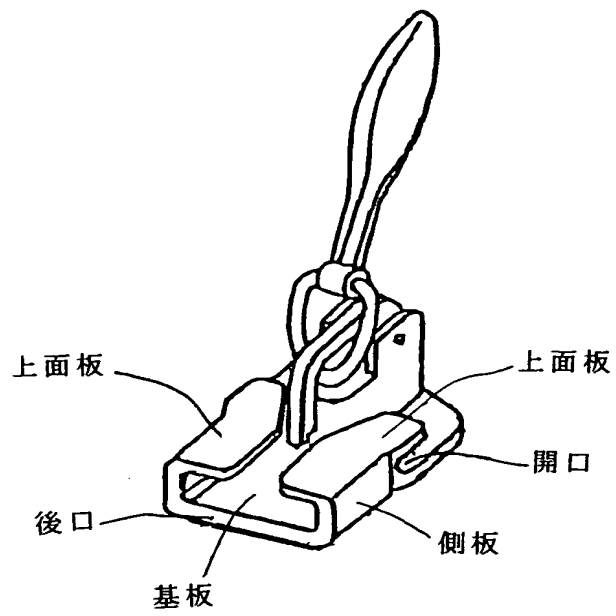
【图 13】



【图 14】



【図 1 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 隠しタイプのスライダーであって、摺動性がよく、また開き製品の場合は蝶棒の差込操作が円滑に行える。

【解決手段】 隠しタイプのスライダーは、胴体 1 の底板 1 3 の両側に側壁 1 4 を立設し、側壁 1 4 の上端を内側へ屈曲してフランジ 1 5 を設け、フランジ 1 5 から側壁 1 4 にかけて、フランジ 1 5 の肩口 4 3 側の先端から下り勾配の斜面に形成してガイド部 2 2 を設け、このガイド部 2 2 を備えたフランジ 1 5 の先端は案内柱 1 6 の側面に対し、直角または後口 4 4 側へ多少傾いて設けることにより、蝶棒の差し込み時にはガイド部 2 2 がファスナーテープ 5 をスムーズにガイドし、またスライダーの閉鎖方向への摺動の際は軽快に摺動させることができる。

【選択図】 図 1

特 2 0 0 2 - 2 7 4 3 3 3

認定・付加情報

| | |
|---------|--------------------------|
| 特許出願の番号 | 特願 2 0 0 2 - 2 7 4 3 3 3 |
| 受付番号 | 5 0 2 0 1 4 0 8 2 1 9 |
| 書類名 | 特許願 |
| 担当官 | 第四担当上席 0 0 9 3 |
| 作成日 | 平成 1 4 年 1 0 月 1 1 日 |

< 認定情報・付加情報 >

| | |
|-------|-------------|
| 【提出日】 | 平成14年 9月20日 |
|-------|-------------|

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 6 8 2 8]

| | |
|----------|---------------------|
| 1. 変更年月日 | 1 9 9 4 年 8 月 1 9 日 |
| [変更理由] | 名称変更 |
| 住 所 | 東京都千代田区神田和泉町 1 番地 |
| 氏 名 | ワイケイケイ株式会社 |